

Topics ■トピックス [学内情報]

総合型地域スポーツ・文化クラブ「関西大学カイザーズクラブ」を設立 KAISERS CLUB

優れた知財・人材・施設を地域に還元し、地域課題に取り組む



今春、関西大学は創立130周年記念事業の一環として、「特定非営利活動法人 関西大学カイザーズ総合型地域スポーツ・文化クラブ」を設立した。

大学の知財・人材・施設を基にスポーツ・文化スクールを運営し、青少年の健全育成、社会におけるコミュニティー作り、健康で豊かな生活の醸成などの地域課題に取り組んでいく。

組織は大学・地域住民・校友・保護者により構成され、多世代、多目的、多志向をキーワードに、関西大学が地域に根差した大学へ成長することを支援していく。



サッカースクール



アイスホッケースクール

既にサッカーとアイスホッケーのスクールを開講しており、2016年はチアリーディング、テニス、2017年にはバスケットボール、ママさんバレー、以降は音楽関連サークルや放課後サークル(学童系)の開講も予定している。

マルチリンガル・イマージョン学習スペースがオープン Multi-Lingual Immersion Room

ICT ツールを使い、海外大学と異文化交流



▲凧風館で開催されたプレオープニングイベントの様子

関西大学では、学内留学ができるグローバル空間として、「マルチリンガル・イマージョン学習スペース(Mi-Room)」を総合研究棟1階に開設した。

Mi-Roomは、外国語による異文化コミュニケーションを身近に体験することで、グローバル意識を高め、将来的な留学や外国語を活用した就職・進路を実現するための支援を行う空間。具体的には、①海外の大学と連携し、情報通信技術(ICT)ツールを用

いて海外の教育機関と交流学习するCOIL[※]授業の開講、②留学生や国際交流のエキスパート、留学経験者による語学レッスンや留学準備の支援、③異文化に触れ、英語で学び交流するアクティビティを展開する。

6月18日にはプレオープニングイベントが開催され、本学学生の英語による司会の下、施設紹介や留学生によるプレゼンテーション、Skypeを利用した遠隔交流のデモンストレーションが行われた。また、7月15日には、映画『Toilet』(荻上直子監督 2010年ショウゲート・スールキートス配給)の上映会と映画についてのディスカッションが行われた。今後も多彩なイベントを企画している。



▲「言葉を使う、使わないなど、コミュニケーションの方法は色々ある」と映画を観た感想を語る学生たち

※ COIL…Collaborative Online International Learning (オンライン国際交流学习)



千里山キャンパスに新しいアクセス・エリアを創出

利便性と快適性を求めたアプローチに

千里山キャンパスへの新しい玄関口として、阪急関大前駅北口の東側に、大学への新たなメイン通路を開設する。それに伴い、エスカレーターや憩いの広場を設け、植樹による緑のキャンパス空間をスマートに演出するなど、学生や地域住民の人々の利便性・快適性を高め、安全・安心で人に優しいアプローチを造成する。

この新たなアクセス・エリアの創出により、地域と大学が共に発展できる「まちづくりの推進」にも取り組んでいく予定だ。

▲新アクセス・エリア完成イメージ図

今年も大盛況! 関西大学3キャンパスで市民参加型のキャンパス祭を開催

● 2015年度高槻キャンパス祭
学生と市民が多彩な催しで交流



5月31日、総合情報学部祭典実行委員会が企画・運営する高槻キャンパス祭2015が開催された。21回目を迎えた今年のタイトルは「紫陽花祭(アジサイ)」。たくさんの花が集まることで、より一層輝くことができる紫陽花をテーマに、学生による模擬店や研究発表、フリーマーケット、各種ステージ企画、応援団による演舞など、さまざまな催しが行われた。

また、視聴者参加型スタジオ体験イベント「相羽博士の公開実験～Move to the TV～」や、井浦崇准教授による講演「琳派～モダン・アート・デザイン、音楽～」なども行われ、キャンパス一帯は終日大盛況。来場者数は約3600人にもものぼり、紫陽花のように鮮やかな笑顔がいたるところで咲き乱れていた。

● 第5回堺キャンパス祭
地域とつながる楽しいイベントが満載



6月7日、堺キャンパスでは、人間健康学部祭典実行委員会を中心に第5回堺キャンパス祭を開催した。テーマは「堺キャンパスや さかい!!～SAKAI市民交流の場～」。

ステージ企画や模擬店、人間健康学部教員によるワークショップの他、毎年好評のNPO法人主催「みんなであそぼう」やフリーマーケット、地域の子も達とのスポーツ交流、ゼミの研究発表など、世代を超えて楽しめる催しが数多く行われた。当日は、約2500人も来場者があり、テーマの通り、学生のみにとどまらず、堺市民の人々と共に盛り上がり、親睦・連帯・交流を深める人間健康学部らしい一日となった。

● 第1回高槻ミュージックキャンパス祭
楽しみながら学ぶ体験型企画が満載



6月21日、第1回高槻ミュージックキャンパス祭が開催された。このイベントは、例年6月に開催の「安全フェスティバル」と、11月に開催の「キャンパス開放デー」を合体させ、更にパワーアップさせたもの。「楽しく防災を学んで伝えよう」をテーマに、祭典実行委員の学生をはじめとした社会安全学部生が運営に携わった。当日は、自衛隊や警察を招いての企画や、防災の知識を盛り込んだ参加型イベントなど、多数開催された。

学生による模擬店の他、卒業生である元フィギュアスケート選手の織田信成氏による講演会、中・高・大学の吹奏楽部総勢100人で演奏するコンサートなど、多彩なイベントも行われ、約3000人の来場者とともに大いに盛り上がった。